

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 29 日作成)

委員会名	PC 耐震設計小委員会	主 査 名：丸田 誠
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (プレストレストコンクリート構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：浜原正行
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	プレストレストコンクリート(PC)構造は、大地震に対しても残留変形の少ない良好な性状を示すが、耐震設計に対して万全とは言えない。特に現在、終局強度設計を行っているが、性能設計に向けた検討が必要なるため、本委員会で検討を行った。	
委員構成 (委員名(所属))	主査：丸田誠(鹿島建設)、幹事：福井剛(ピーエス三菱)、浜原正行(日大)、是永健好(大成建設)、加藤博人(建研)、河野進(京大)、小室努(大成建設)、島崎和司(神奈川大)、中塚侑(阪大)、西山峰広(京大)、深井悟(日建設計)、出口兼(和歌山県庁)、内山執樹(オリエンタル建設)、高橋元美(鹿島建設)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2004 年度予算	180,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 1 回(4/9、出席者：8 名) 第 2 回(7/14、出席者：8 名) 第 3 回(11/10、出席者：7 名) 第 4 回(1/19、出席者：5 名)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) (1)目標耐震性能に関する議論の実施。 (2)PC を対象とした減衰性能に関する討議を行った。 (3) 限界耐力計算法による試設計を行った。 (4) 学会大会 PD で耐震設計に関してまとめたものを報告した。 (5)性能設計に向けて各種限界状態との比較案を作成した。 (6)耐震設計指針(PC 規準)の概要の討議と作成を開始した。  委員会 HP アドレス： HP 公開は可
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 当初の目的は、ほぼ達成できた。 来年度からは、PC 用の性能設計法を作成すべく、各種項目の見直しや学術データの更なる収集を中心に活動を行っていく。
その他評価すべき事項	